

1. 鈴木哲雄さん急逝

T2の鈴木哲雄さんが、8月2日19時頃癌のためお亡くなりになりました。謹んでご報告申し上げます。

哲雄さんは、練習再開に参加を目指して頑張ってきましたが、叶わず最後は自宅で家族全員に看取られました。本人とご家族から『日本丸合唱団に入団して本当に良かった』と言われました。

4日の練習時に「遙かな友に」を捧げ黙祷しました。安らかに眠り下さい。

山路団長がご家族のみなさまあてに、写真を添えてお手紙を書きました。以下転載します。

帆船日本丸を愛する男声合唱団の団長の山路と申します。このたびは、鈴木哲雄さんの悲報に接し、たいへん驚くとともに、残念でなりません。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、哲雄さんのご冥福をお祈り申し上げます。

哲雄さんは、鶴野さんのご紹介で2016年4月に入団され、同年8月7日開催の第21回定期演奏会に出演、以降も第22回、第23回、第24回と欠かさず出演されました。とくに昨年の第24回(2019/6/15)では、リハビリをされながら練習にきちんと参加し、“The Banks of Sacramento”では、ソロ演奏も務められました。

合唱団の有志で年2回開催しておりますゴルフ大会(日本丸マスターズと自称しています)にも、2016年秋、2017年春、秋、2018年春と参加され、ゴルフ後の宿泊・宴会にも欠かさず参加いただきました。

T2パート内では、パート総務を担当していただき、13名の連絡調整や団費徴収等でご貢献いただきました。そして、何より有り難かったのが、哲雄さんのお人柄です。実に温厚誠実なお人柄で、いつも笑顔を絶やさない方でした。パートを問わず、尊敬され、愛されたお方でした。まことに残念でなりません。

本来ならばすぐに駆け付け、哲雄さんをお見送りしたいところですが、昨今の情勢から、それは控えざるを得ません。そこで、8月4日の定例練習の際に、写真を指揮者の



前に置かせていただき、黙祷し、「遙かな友に」を捧げました。

改めまして哲雄さんのご冥福を

お祈り申し上げますとともに、ご家族のみなさま、どうぞご健康に留意なさって下さい。

2. 高井さん退団

T1の高井禄郎さんが8月30日をもって対談されることになりました。ご都合でしばらく休団されていましたが、毎回の定演では必ず裏方の取りまとめをしていただいていた。また定演打ち上げでは恒例の『扇子踊り』で大いに盛り上げていただきました。お礼のメールを差し上げたところ、ご丁寧な返信を頂きましたので、ご了解のもとに、ここに転載します。

(1) 鶴野さん

ご丁寧なメールを有り難うございます。

本来ですと、復活の見通しもなかったもので、とくに退団していかなくてはいけなかったのですが、毎年の演奏会のお手伝いをさせていただいて、せめてもの罪滅ぼしと思ってやってきました。

昨年から当日の裏方の委託が認められてそれほど手がかからなくなったので良い機会と思いました。

会費の件も調べていただき有り難うございました。

在団中は、歴代の団長、仲間、指揮者、指導者の皆様に大変お世話になり本当に有り難うございました。

大町さんのお誘いで、練習風景を覗きに行ったのが運のつきで、その場で皆さんに紹介され即入団させられました。合唱はやったこともなく、音符も読めず、外国語も出来ず、暗譜も苦手で四苦八苦の練習でしたが、皆様の励ましで楽しく過ごせました。

思い出に残ることはたくさんありますが、やはり一番は、県立音楽堂で満員の聴衆の前で、ソロを歌ったことです。”ダンチョネ節”でした。

入団時に皆さん何か歌わされるのですが、私は思い当たる歌もなかったので、学生時代の余興でよくやった”ひがしにい～大利根の清流をそそぎい～、西にい～霊峰富士の高嶺をあおぐう～～”を扇子踊り付きでやりましたら大受けて、覚えていた大町さんが是非ソロを扇子付きでやるようにとの指示になりました。

練習の時は、扇子の動きが気になって歌詞が出てこなかったりしたので、本番では扇子に歌詞を書き込みカンニングが出来るようにして臨みました！！



聴きに来ていた他の合唱団の人から、小道具付きの合唱は初めだとお褒めの言葉？がありました。佐藤精吾さんのウイスキーボトルにはかないませんが・・・！

思い出は尽きないのですが、大変お世話になったT1の丸山隆男さんが声帯の調子が良くなり療養中とお聞きしました。裏方では奥様と一緒してお世話になりましたので、大変心配しております。早くのご快癒を心よりお祈りしております。どうぞよろしくお伝えください。

(2) 山路さん、小永井さん、

本当にお世話になり有り難うございました。

不肖の団員で過ごしましたが、練習後の飲み会も楽しかったです。それぞれの方の個性が発揮できる帆船日本丸を愛する男声合唱団は素晴らしいですね。永遠に不滅だと思います。

新型コロナウイルスの時期で直接ご挨拶が憚られますので、どうぞ皆様にくれぐれもよろしくお伝えください。

来年の演奏会は、是非伺いたいと思いますし、必要があれば裏方のお手伝いもしますよ！

(3) 以下高井さんをお願いして、文中の『ダンチヨネ節』: の歌詞をいただきました。

定演打ち上げの高井さん十八番『扇子踊り』をイメージしながらお読みください。

帆船日本丸を愛する男声合唱団節(仮称)

(変詞 高井祿郎 2020.8)

♪ 東に大利根の清流をそそぎ、西に霊峰富士の高嶺を仰ぐ、ここ関東平野、大横浜市みなとみらいの杜に、毅然としてそびえ立つは、わが、帆船日本丸なり～、

♪ 帆船日本丸の旗の下に馳せ参じ、明日の日本を背負いたつ、我が帆船日本丸を愛する男声合唱団の若者どもは、ここ 紅葉坂 ○ ○ に集い、わが合唱団節の一節を、いざ歌わんかな、舞わんかな、いざ狂わんかな～、

♪ エッサコリヤコリヤこの俺は、まかり出ましたこの俺は、合唱団一のいい男、

エッサ見てくれこの身体、柔道で鍛えたこの身体、エッサ見てくれこの腕を、剣道で鍛えたこの腕を、

前から来い、後ろから来い、前から来る奴は諸手突き、後ろから来る奴は背負い投げ、

エッサコリヤコリヤ皆が揃たら、皆が揃たら、合唱団節だよ、合唱団節は1拍子、

♪ ここはヨコハマか、MM の街か、MM の街なら帆船日本丸、男声合唱団の若者達は、度胸ひとつの男だて、度胸ひとつで、MM の街を、歩いていきます紋付き袴、



帆船日本丸を愛する男声合唱団 第13回定期演奏会 2008年7月26日

♪ 紋付き袴は、合唱団の育ち、ポロは俺らの旗印、ポロは纏えど、心は錦、どんなものにも恐れはせぬぞ、どんな者にも恐れはせぬが、可愛いあの娘にやかなやせぬ、

♪ 可愛いあの娘が、いつでも捨てる、合唱団のためなら命まで、

♪ 命捨てても、その名は残る、

♪ 帆船日本丸合唱団のその名も残る、マエストロ大森さん(大町さん、白石さん)のその名も残る、

♪ おまけに彼女のその名も残る、もう一つおまけに俺らの名も残る、

フレー、フレー、帆船日本丸を愛する男声合唱団！！

<合いの手>(フレー、フレー、合唱団、フレー、フレー、合唱団！！)

フレー、フレー、マエストロ大森キャプテン！！

<合いの手>(フレー、フレー、大森キャプテン、フレー、フレー、大森キャプテン！！)

フレーフレー ○○さん！！

<合いの手>(フレー、フレー、○○さん、フレー、フレー、○○さん！)

(4) 高井さん

素晴らしい退任の辞、ありがとうございました。退団自体はたいへん残念ですが、来年以降も定期演奏会にお越しいただき、OBとしてご助言いただけるのとこと、緊張感を持って練習したいと思います。

さて、写真の演奏会はいつかと思い出し、聴き返しました。2008年7月26日、第13回定期演奏会でした。朗々と歌ってましたよ。大町さんもお元気で、全曲指揮をして、トークを繰り広げてました。数年前に横浜マラソンの受付に行った際、会場であたりお会いしましたね。まさかランナー、ではなく、主催者側の一員としてのお仕事と聞きました。区長退任以降、いまま横浜市等の多くの役職をこなしながら、高井画伯の個展も定期的で開催されているバイタリティ、見習いたいです。では、来年の定演でお目にかかりましょう。

山路永司